

平常時から確認しておくこと



万が一の時もあわてないよう、日頃から準備しておきましょう。

自宅の状況を確認

- 自宅や学校・職場が**注意を要する箇所**に入っていないか、また、近くに**危険な箇所**がないか確認しましょう。
- 家族で**避難時の行動**について話し合っ、それぞれの役割やはぐれた時の集合場所・連絡方法などを確認しておきましょう。



避難場所を確認

- 災害時には自宅に一番近い避難所が使えない事態も考えられます。**近い避難所を2箇所以上**確認しておきましょう。
- 自宅から避難所まで実際に歩いてみて、**危険想定箇所**を避け災害時に通行できない場合など想定し、避難経路を確認しておきましょう。



持ち出し品を確認

- 避難時の持ち出し品は、日頃から準備しておき、**置き場所**を決めておきましょう。
- 非常食や飲料水などは、定期的に新しいものと取替えましょう。
(飲料水の目安: 1人1日3リットル)



災害情報を確認

- 普段からテレビやラジオ、インターネットで、**気象状況**や**災害情報**に注意を払いましょう。
- 市からの情報に注意し、近所の方々と情報交換しましょう。



避難時に注意すること



おちついて早めに行動し、決められた場所へ避難しましょう。

災害情報に注意

- テレビ、ラジオで**最新の気象情報、災害情報**に注意しましょう。



- 関係機関や災害対策本部からの情報などにも注意しましょう。

家の戸締まりに注意

- 避難の際は**ブレーカー**^{*}を落とし、**ガスの元栓**を締めるなど**火の始末**と**戸締り**を行いましょう。

※ 電気が復旧した時、破損や倒れた電気器具から出火したり、断線した電気コードがショートするなどが原因で火災が発生する場合があります。自宅などを離れる際は、必ずブレーカーを落とすとともに、コンセントも抜いておきましょう。



状況の変化に注意

- 不安を感じたら**早め**に避難しましょう。
- 特に、高齢者・子ども・身体に障がいのある方がお住まいの世帯では、早めの避難が必要です。
- 避難するときは、1人で行動せずに、近所の人達と声を掛け合い**一緒に**避難しましょう。



身の回りの安全に注意

- **車は使わず、徒歩**で避難しましょう。
- 狭い道、塀際、川べり、崖などを避けましょう。
- 避難時の荷物はリュックなどに入れ、できるだけ**両手が空く**ようにします。



- できるだけ**明るいうちに**避難し、高齢者や障がい者、乳幼児がいる場合にはみんなで協力して避難しましょう。

